



空き家問題 総合学習

6年生のみんなありがとう!

きみたちのアイデアで **ふるさぽ通信** が生まれました



私たちNPO法人ふるさと福井サポートセンターが、美浜町を中心に空き家マッチング活動を10年以上続けている中での

大きな課題は、空き家の所有者が空き家の行く末についてなかなか決断できずに、そのまま放置されることです。

空き家の行く末の早期決断を促すためには、所有者本人が家族で話し合う事の重要性に気づき、子供たちから大人へアプローチしてもらうことが効果的なのではないかと考えました。

そこで地元の小学校の先生に相談し、今年の



7月11日に美浜町内の小学校3校の合同で、6年生を対象とした第1回目の総合学習を実施しました。「空き家の現状を知ってもらうこと」及び「空き家所有者が早期決断できないこと」をテーマに、ワークシートを使って学習していただきました。

そして、この総合学習の中で小学生から出されたアイデアのひとつとして、広報誌「ふるさぽ通信」を発行することになりました。

小学生の豊かな発想を形に出来たことが、私たちの新たなステップアップになりました。

6年生のみなさん、ありがとう。

(井関みちる)

早期決断のススメ

近年空き家が多いと大きく報道されていますが、その原因のほとんどが放置していることにあります。空き家の所有者の方が遠方にいたり家族との調整が難しかったりといういろいろ事情はありますが、結果問題の先送りをしていることが放置の原因には変わりありません。

さらにはいつの間にか放置してしまっていたという現象もあります。それは空き家についての間違った認識です。空き家についての正しい認識を得ることで早期決断への道が開けます。

「国や役場が、引きとってくれるはず」という勘違い

空き家や空き地は放っておいてもいずれ最終的には国や役場が引きとってくれると思いつまれている方がかなりの数でいらっしゃいます。

国の制度では土地を引き取ってもらう制度も存在しますが、クリアしないといけないハードルの高い項目があり、正直現実的ではなく基本は引き取ってもらえないという認識でおられた方が多いかと私たちはお伝えしています。

家のゴールは本人自身で決めていかないといいけない。そんな認識を持っていただけるとお家も喜びます。

(北山大志郎)



美浜駅に集合



おじゃましま〜す



小雨の中をゾロゾロと

第26回 美浜町

空き家 マッチング ツアー

参加者
過去最多の50名



お弁当タイム



なるほど、ここはこうなるとるんか

空き家マッチングツアー

とは

使われていない家と
住みたい人と
地元地域を
つなげるツアーです



ふむ ふむ

2月25日に、今回で26回目となる美浜町空き家マッチングツアーを行いました。高知県の三市町からの視察団13名にスタッフも含め総勢50名という過去最多の参加者になり、マイクロバス2台とワゴン車1台に分乗して、郷市、新庄、河原市、佐田、久々子にある六つの物件を見て廻りました。

肌寒いあいにくの小雨でしたが、皆さん熱心に物件をチェックしていました。
(松本芳幸)



参加者が多過ぎて、案の定全員が入りきれなかった集合写真

🏠【空き家】のことは何でもご相談下さい

NPO 法人 ふるさと福井サポートセンター

【住 所】福井県三方郡美浜町木野 21-4-17

【電話/FAX】050-3565-5782

【メール】info@furusato-fukui.com 【HP】http://furusato-fukui.com



ふるさぽ公式LINE